

平成23年度 茶の放射能調査結果(静岡県)

(単位: Bq/kg)

地区名	産地	セシウム	セシウム	セシウム
		一番茶	二番茶	秋冬番茶
		製茶	荒茶	荒茶
伊豆市	伊豆	359	358	123
小山町	北駿	128	115	59
御殿場市				
沼津市	ぬまづ茶	225	119	37
富士宮市	富士宮のお茶	349	181	69
富士市	富士のお茶	359	223	60
静岡市	本山茶	413 (藁科地区)679	13 (藁科地区)231	43 (藁科地区)-
静岡市(清水区)	清水のお茶	368 (庵原地区)461	259 (庵原地区)311	46 (庵原地区)-
島田市	島田茶	311	174	35
島田市(旧金谷町)	金谷茶	385	131	40
藤枝市	藤枝茶	305	212	39
川根本町、島田市(旧川根町)	川根茶	350	106	8
牧之原市	静岡牧之原茶	272	138	44
御前崎市	御前崎茶	149	191	49
菊川市	菊川茶	184	170	37
掛川市	掛川茶	146	100	24
袋井市	袋井茶	141	74	21
磐田市	いわた茶	194	54	37
森町	遠州森の茶	158	106	33
浜松市(※生葉と飲用茶は天竜区で実施)	浜松(浜松茶、天竜茶、龍山茶、春野の茶)	265	109	28

(注1)本調査の「製茶」とは、産地が漙及できるようブレンドをしない状態の該当産地の茶葉をいう。

(注2)荒茶とは産地の製茶工場が生葉が加工された一次産品の茶のこと。

(注3)一番茶の生葉と飲用茶の分析は、静岡県環境放射能監視センターで実施、製茶の分析は厚生労働省 横浜検疫所で実施した。二番茶の生葉と飲用茶は厚生労働省 横浜検疫所(一部は国立医療科学院)で実施した。秋冬番茶は、食品衛生法に基づく登録検査機関(株式会社静岡検査センター)で実施した。

(注4)静岡県環境放射線監視センター実施分:分析装置の精度から分析値の有効桁数は2桁とする。(分析は、ゲルマニウム半導体検出器によるγ核種分析、2000秒)

(注5)飲用茶では、ヨウ素は全ての検体において検出されなかった。(個々の記載は省略)